

1) 月例会 報告

平成 23 年 12 月例会

12 月 13 日 (アクア博多)

講演 「糖尿病外来診療 UPDATE」

福岡大学筑紫病院内分泌糖尿病内科

教授 小林邦久先生

大血管障害については初期から厳格に治療する事が重要。インクレチン (GLP-1) はインスリン上昇、グルカゴン低下の 2 作用あり、低血糖を起こしにくい。DPP4 阻害薬は単独では効き目が少ない。 α GI、メトホルミン、ピオグリタゾン、インスリンとの併用がよい。EPA が GLP-1 分泌刺激するから、魚介類を食べる人に有効。

2 月 14 日 (アクア博多)

特別講演 『アレルギー性鼻炎の病態と治療』

九州大学病院 耳鼻咽喉科

助教 久保和彦先生

季節性及び通年性のタイプがある。杉花粉症は今年は遅れている。アレルギー性鼻炎の診療ガイドラインがあり必読(ライフサイエンス社)。薬物療法で第 1 世代抗ヒスタミン薬は鼻閉に無効で副作用が強い。第 2 世代抗ヒスタミン薬が一般的に使われる。鼻閉型で重症は手術する。抗ヒスタミン薬の副作用は過食、学習能低下、痙攣などある。

平成 23 年 3 月例会

3 月 13 日 (アクア博多)

特別講演 『生活習慣病と骨粗鬆症

～ビタミンDの重要性～』

帝京大学ちば総合医療センター 第 3 内科

教授 岡崎亮先生

カルシウム吸収能(=ビタミンD)は年齢とともに下がる。非活性型のビタミンD (2.5 (OH) D) 測定は ビタミンD 不足しているか調べるために必要であるが保険適応がない。これが低いと骨密度が低い。ビタミンD不足はCKD、COPDと関連している。2型糖尿病は骨密度が高いが骨折は多い。皮質骨多孔性が増加しているためである。アクトスは骨に悪い。ビタミンDが足りないとやがて血糖上昇する。エルデカルシトールは骨への作用強化した新しい活性型ビタミンDである。

2) 研究会御案内(自由参加、5 単位)

消化器懇話会(TKP 博多シティセンター TEL474-5111)

第 2 月曜 19:00~ 講師:野尻 五千穂 先生(つくしクリニック)

循環器懇話会(TKP 博多シティセンター)

第 4 月曜日 19:00~ 林靖生先生(原三信病院)

丸山徹先生(九州大学健康科学センター)

呼吸器懇話会(TKP 博多シティセンター)

年 2 回(5 月 11 月) 19:00~ 竹田 圭介 先生